

目標達成計画

事業所：グループホーム若葉

作成日：平成23年 11月 11日

市町村受理日：平成23年 11月 14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員全員への理念の意味や浸透が十分ではない。チームケアを行う上でも方向性を定めるものとして、全職員へ更なる浸透や意味の理解を深めていく必要がある。	職員全員が理念の理解をする事により、グループホームとして同じ方向性を持ったケアを行うことが出来る。	毎日の申し送り時に理念の唱和をおこない、理念の浸透をおこなう。 毎月の職員カンファレンス時に、理念の意味や理解に対する学習の機会を持つ。	2ヶ月
2	33	看取りについては取り組む方向ではあるが、職員の介護力や看取りに対する支援体制作りが進んでいない。	チームとして職員間のスキルの差が無く、統一したケアがおこなえるよう研修をおこない、しっかりとした看取りケアがおこなえるようになる。	職員カンファレンス時や、同法人の医療機関協力の下、看取りに対する職員研修を実施する。	6ヶ月
3	35	災害の際に、近隣の住民からの協力が得られる可能性が低い。 災害時に全職員が訓練通りの動きが出来るのか不安がある。	ホームが開設してから日が浅いことから、まだ近隣住民から受け入れられていない。ホーム側から積極的に情報提供をおこない、時間を掛けて受け入れられるよう努力していく。	全職員が近隣の方へのご挨拶をおこなう。 行事の際は近隣の方への御案内を行い、参加して頂く事でホームへの理解を深めて頂く。 災害訓練を繰り返すことで、全職員が災害時に対応できるようになる。 3日分程度の備蓄品を用意し、災害時に対応出来るようにしておく。	1年
4	4	運営推進会議を活かした取り組みが出来ていない。	御家族に運営推進会議に出席していただくことで、御家族の意見やホームでの困難事例を共に共有することが出来る。	参加出来なかったご家族に対し、運営推進会議の議事録を送付する。 運営推進会議に他職種からの参加を依頼し、多方面からの発言を頂く。 ホームでの困難事例も積極的に課題として検討していただく。	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。